

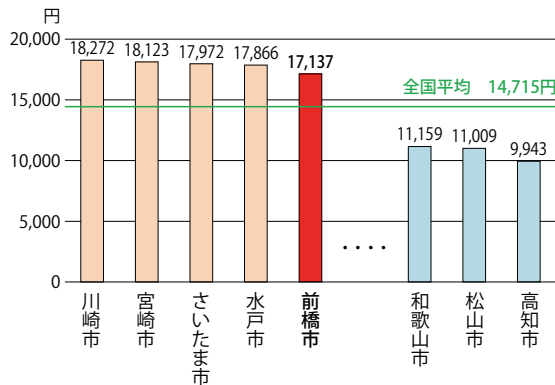
前橋市民の「茶飲料」への支出金額は全国1位

～お茶は茶葉でいれずに、ドリンクを買ってそのまま飲むもの?～

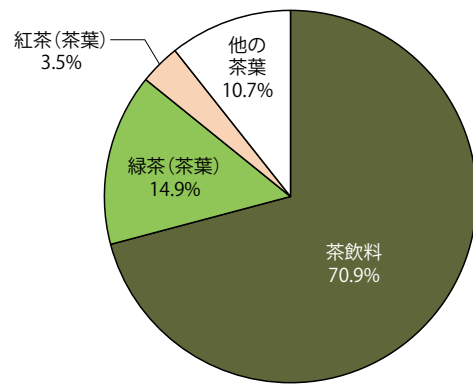
- 総務省「家計調査（家計収支編）」(二人以上の世帯、2025年計)によれば、全国の都道府県庁所在地及び政令指定都市の中で、前橋市は「茶類^(注)」(茶葉や茶飲料等)の1世帯あたりの年間支出金額が全国5位となっている(図表1)。
- 前橋市における茶類への支出金額の内訳をみると、「茶飲料」が全体の約7割を占めており、「緑茶(茶葉)」は14.9%であった(図表2)。
- 前橋市の「茶飲料」の年間支出金額は全国1位であるが、「緑茶(茶葉)」は31位で中位以下となっている(図表3、4)。
- 前橋市民にとって、お茶は点てたり、急須で入れるものではなく、ドリンクを買って、そのまま飲むのが主流になっている可能性がある。これは女性になるべく手間をかけさせない「かかあ天下」ならではの生活習慣なのだろうか。

注：植物の葉や実などを主原料とし、一般的には緑茶、紅茶、麦茶などの「茶」と呼称されるもので、固体の「茶葉」と、液体をペットボトルや紙パック等に詰めた「茶飲料」がある。

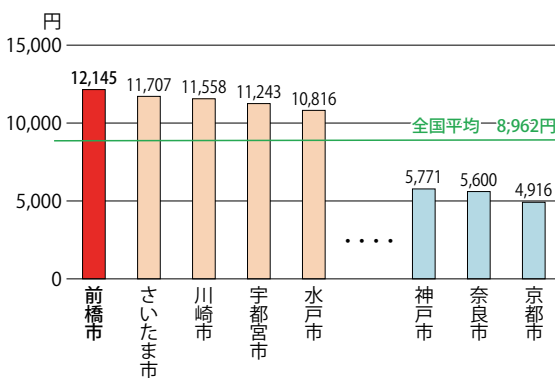
図表1 「茶類」への年間支出金額(2025年)



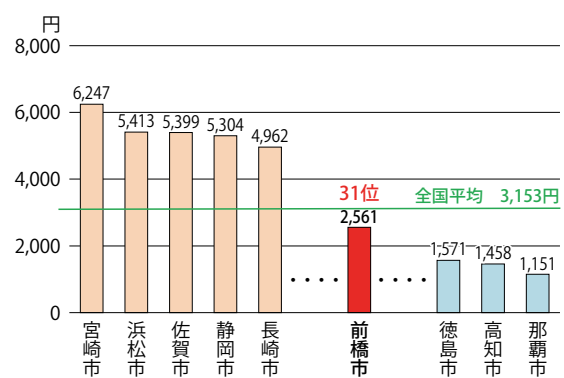
図表2 「茶類」支出金額の内訳(前橋市・2025年)



図表3 「茶飲料」への年間支出金額(2025年)



図表4 「緑茶(茶葉)」の年間支出金額(2025年)



資料：総務省「家計調査（家計収支編）」から当研究所作成

「家計調査」は、特定の商品の支出金額で全国1位をめぐる地域間競争の元データとなっている統計である。ギョーザでは浜松市、宇都宮市、宮崎市の競争が、ラーメンでは山形市と新潟市の競争が話題となっており、1つの統計が地域振興に役立っていると言えそうである。

(担当：伊勢和広)